

日本国際文化学会第24回全国大会スケジュール

7月5日(土)

□自由論題・大学院生交流会・理事懇談会・共通論題・公開シンポジウム・情報交換会

時間	プログラム		会場
9:00～	受付		
10:00～ 12:00	【自由論題 A】 文化外交と文化政策 司会：大山貴稔 (九州工業大学)	戦後日本国際文化交流の黎明 — 占領期の国際文化振興会理事長・加納久朗に着目して 金子聖仁 (東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程)	143
		70年大阪万博における日本イメージの構築と発信 — 会場計画と日本館を事例として 加畑杏理 (東洋大学客員研究員)	
		『詩神の声聞こゆ』が諷刺する冷戦期アメリカの欺瞞 — プロパガンダ、異文化交流、そして芸術の可能性 徳永慎也 (群馬パース大学教養部講師)	
		冷戦期におけるシンガポールの華語政策 菅野敦志 (共立女子大学国際学部教授)	
	【自由論題 B】 文化の翻訳／翻訳の文化 司会：目黒志帆美 (東北大学)	文化触変を起こす翻訳行為 — 明治前期の翻訳書に付された翻訳言説の分析 齊藤美野 (順天堂大学国際教養学部准教授)	144
		『ハイジ』来日す—野上弥生子による重訳をめぐって 葉柳和則 (長崎大学教授)	
		古漢文読解の誤りが日中文化交流に及ぼす影響 — 『入唐求法巡礼行記』を中心に 韓如帆 (龍谷大学国際学研究所博士後期課程)	
		幸田露伴『努力論』の再読 — 中国古典の引用と解釈に注目して 梁鎮輝 (宇都宮大学国際学部助教)	
	【自由論題 C】 言葉と他者 司会：渡辺愛子 (早稲田大学)	マルセル・ブルーストの他者理解に見るフィルターの機能 — ジェラルド・ド・ネルヴァルの夢の主題との関連を中心に 高橋梓 (近畿大学准教授)	145
		国語・民族性・他者—実藤恵秀の国語改革論を中心に 朱琳 (仙台高等専門学校助教)	
		日本語の「恥」と英語の“shame”の意味構造 — 文学作品のパラレルコーパスのデータ分析から 斎藤珠代 (東北学院大学助教)	
		日本語教育への文化適応型教授法の応用に関する研究 Duan Yunyi (宇都宮大学地域創成科学研究科博士後期課程)	
	【自由論題 D】 文化の越境とメディア 司会：坂口可奈 (北海商科大学)	「奔放なおんなたち」の表象とその国際的な展開 — <i>The Review of Reviews</i> とアメリカの新聞・雑誌にみるフラッ パーとモダン・ガール 深松亮太 (常磐大学人間科学部准教授)	135
		「K-Drama」と「韓流ドラマ」—グローバル受容中の日本にお ける韓国ドラマへの認識の交差 石俊彦 (東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程)	
		アニメーション映画『ムーラン』(1998)と実写映画『ムーラ ン』(2020)との比較研究 — 映画における中国像の変遷とその受容の問題 孫蘇渝 (東北大学国際文化研究科博士後期課程)	
		地域住民～来訪者間の触媒としての動画サイトの作用について — 中国山東省淄博市におけるオーバーツーリズムの事例から 張昕 (山口県立大学国際文化研究科修士課程)	
12:00～ 13:30	昼食 (会場：142) 大学院生交流会 (会場：157) 理事懇談会 (会場：146)		

13:30～ 15:30	【共通論題①】 自治体と国際文化—平和 と経済開発をめぐるグロー ーカル・ヒストリー 代表・司会： 高光佳絵（千葉大学）	大和裕美子（九州共立大学）	143
		池上大祐（琉球大学） 高光佳絵（千葉大学） コメンテーター：斉藤理（山口県立大学）、川村陶子（成蹊大学）	
	【共通論題②】 南方抑留の残像としての 東南アジアイメージ 代表・司会： 山本博之（京都大学）	山本博之（京都大学） 林英一（二松学舎大学） 岡田泰平（東京大学） コメンテーター：菅野敦志（共立女子大学）	144
15:40～ 17:40	【公開シンポジウム】 世界遺産をめぐる文化と 政治の相克 司会：齋川貴嗣 （高崎経済大学）	Shuri Castle and the Politics of Cultural Heritage Tze M. Loo（リッチモンド大学） 官営八幡製鐵所から考える記憶の多声性 —摩擦とともに問い続ける 大和裕美子（九州共立大学） 世界遺産富岡製糸場の観光地化と女性の表象 丸山奈穂（高崎経済大学）	142
19:00～	情報交換会（高崎市役所 21 階 Art Marche）		

7月6日(日)

□自由論題・総会・第14回平野健一郎賞表彰式・ICCO資格認定報告・フォーラム・共通論題

時間	プログラム		会場
9:30～	受付		
10:00～ 11:30	【自由論題E】 人種、記憶、思想 司会：加藤恵美 (帝京大学)	人種暴力の例外化と抵抗—1980年代アメリカ合衆国における 日系人強制収容の歴史的な位置づけをめぐって 阿部純(石巻専修大学助教)	143
		Mnemonic Activism in Brazil's Truth and Amnesty Commissions: The Nikkei Movement to Redress Brazilian Government's Anti- Japanese Oppression Douglas de Toledo Piza (Assistant Professor of International Affairs, Lafayette College)	
		イデオロギーの持つ分断的な力はいかにして避けられるか —石橋湛山の議論を手掛かりに 鈴木裕輔(名城大学外国語学部教授)	
11:45～ 13:30	【自由論題F】 伝統の社会的構成 司会：芝崎厚士 (駒澤大学)	「伝統」との向き合い方—サーミの工芸 duodji に着目して 田中佑実(北海道大学助教)	144
		日本文化・社会の根幹思想「和」の研究 I. 「和」の成立と その継続的な取り組み 側嶋康博(ウェブ・イベントプロデューサー)	
		文化の涵養地としての高崎を再考する —ドイツ人建築家ブルーノ・タウトの時代を中心に 斉藤理(山口県立大学教授)	
13:30～ 14:30	【自由論題G】 政治的環境と気候正義 司会：土谷岳史 (高崎経済大学)	ポルトガル権威主義体制の終焉とカトリック教会 西脇靖洋(静岡文化芸術大学准教授)	145
		イギリスのEU離脱—5年後の検証と今後の展望 永野均(甲南女子大学国際学部准教授)	
		気候変動で沈む土地はなぜ保全されるべきなのか —人間と自然環境とのつながりを出発点として 小野藍(福岡こども短期大学助教) 藤原拓広(九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者)	
11:45～ 13:30	ランチセッション 総会 第14回平野健一郎賞表彰式 ICCO資格認定報告		142
13:30～ 14:30	フォーラム 『インターカルチュラル』投稿者に聞く		142
14:30～ 16:30	【共通論題③】 鶴見和子の／という環境 思想—国際性、ジェンダ ー、そして生命へ 代表・司会： 森田系太郎(立教大学)	杉本星子(京都文教大学)	143
		丹羽一晃(東京農工大学)	
		金杉範子(JAWW[日本女性監視機構])	
		コメンテーター：岩村沢也(淑徳大学)	
14:30～ 16:30	【共通論題④】 「地域への目ざめ」を介 した複言語・複文化教育 プロジェクト 代表・司会： 高橋梓(近畿大学)	高橋梓(近畿大学)	144
		熊野真規子(弘前大学)	
		松井真之介(鹿児島大学)	
		安藤博文(静岡大学)	
		コメンテーター：藤田賀久(多摩大学)	